

かみす

Pick up

- ▶住民健診がはじまります
- ▶デマンドタクシーのエリア間移動サービスが始まります

特集

まちの魅力再発見

誕生！まちの新しいシンボル

かみす防災アリーナ

陽の光を浴びて、キラキラと輝くガラス張りの建物。6月1日、神栖中央公園にオープンした、まちの新しい施設です。アリーナ・プール・音楽ホール、自由にくつろげるコミュニティスペースがあります。「ぜひ一度、来ていただきたい」と話す内藤館長に、「かみす防災アリーナ」の魅力を聞きました。

AR

広報かみすが
動き出す



[COCOAR2]



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は14ページ

かみす防災アリーナ

誕生！ まちの新しいシンボル

令和元年6月1日、神栖市の新しいシンボルとなる「かみす防災アリーナ」がオープン。神栖中央公園に完成したスケールの大きい建物に、一体どのような施設があり、どのように利用できるのか、すみずみまで探検してみました。

防災と交流・憩いの複合施設

神栖中央公園にお目見えしたガラス張りの建物。木立をイメージした列柱と、水平に伸びる雄大なひさしが印象的です。公園の中央プロムナードを歩いていくと、正面にメインの入口があり、右を向くと2階デッキへの大階段、左を向くと陽の光がさすカフェが見えます。

そもそも神栖中央公園は、防災機能を持つ総合公園として2014年6月に開園し、災害時に一時避難や救援救護活動ができる広大なオープンスペースをはじめ、ヘリポート、備蓄倉庫、つき山、防災用井戸、防災トイレ、耐震性貯水槽、かまどベンチなどを備えています。今回、災害時の拠点施設となるかみす防災アリーナが完成したことで、防災機能がより一層強固なものとなりました。



陽の光がさすカフェ

完成に先立ち、去年8月に市民投票で名称を決定、11月には市内小学生の現場見学会を実施するなど、市民との接点を育んできました。

平常時には、スポーツを通じた健康づくりをはじめ、文化活動やイベントの舞台として、また身近な憩いや交流の場として活用していきます。

3つの役割と3つのゾーン

かみす防災アリーナは、大きく3つの役割を担います。1つ目が、日頃の交流が災害時の助け合いにつながる「防災テラス」、2つ目がスポーツと文化をつなぎ出会いと交流を広げる「活動テラス」、3つ目が公園に開かれた「憩いのテラス」です。

建物は、アリーナやプールなどの



かみす防災アリーナ



メインアリーナはプロバスケットボールの試合を開催できる広さ



提供：サイバーダイン茨城ロボッツ

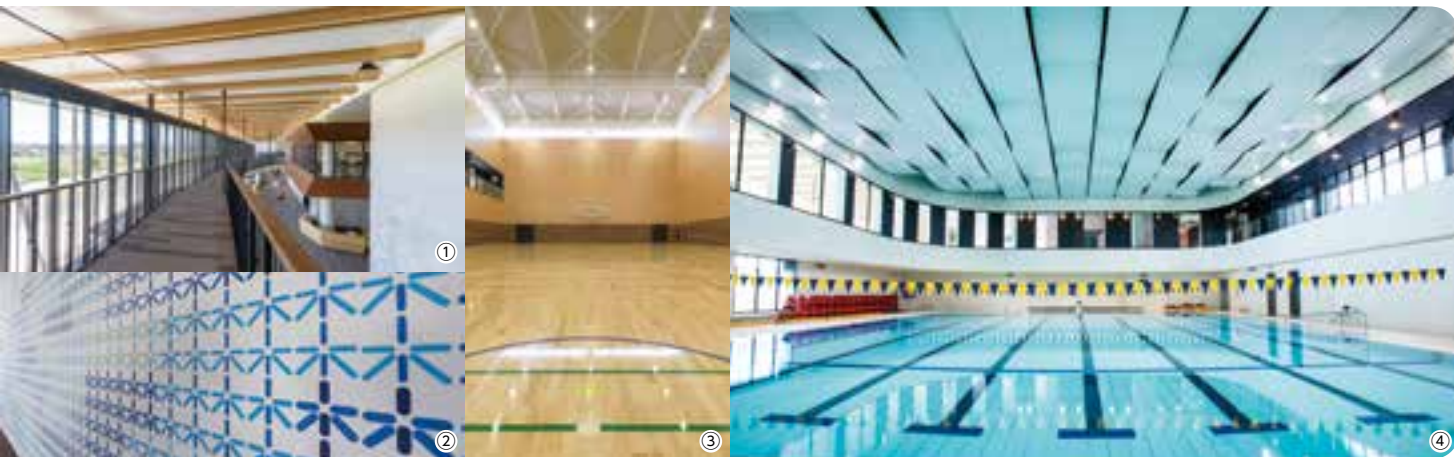
スポーツゾーン、音楽ホールのある文化ゾーン、無料で自由にくつろげるコミュニケーションゾーンから構成されています。災害が発生すれば公園に面した広い開口部を開放し、一時避難所として約1万人、中長期避難所として約2000人の避難者に対応します。

こうした機能や設備が充実しているだけでなく、憩いの空間づくりがされているのも大きな魅力。館内からガラス越しに公園を見渡せば、屋内にすることを忘れてしまいそうな開放感が味わえます。雨の日や寒い冬でも、快適な屋内散歩が楽しめます。

最大5000席のアリーナ

館長の内藤定博さんに館内を案内してもらいました。まずはメインアリーナ。真新しい床は驚くほどピカピカです。バスケットボールコートが3面分あり、プロバスケットボールリーグの公式戦も行なえることから、神栖市では今年2月、Bリーグで活躍するサイバーダイン茨城ロボッツとフレンドリータウン協定を結びました。

「観覧席は2500席、仮設席を含めると最大5000席となり全周囲に車椅子で観戦できるスペースがあります。大規模なスポーツ大会だけでなく、ステージを設営してコンサートやお祭りなどのイベントも開催できます」と内藤館長。天井には茨城県産の木材を使用し、壁面にも木材の面格子を張るなど、木材がふんだんに使われています。これはボ-



①ガラス越しに公園が見渡せる回廊 ②スポーツゾーンの壁紙は「水」のデザイン ③サブアリーナ ④温水プールは25メートル・8コースの広さ

ルが当たって壁が傷むのを防ぐとともに、災害時に避難所として使う際、温もりを感じられる空間とするための配慮です。サブアリーナは、バスケットボールやバレーボールができる広さがあります。壁面には木材を使用し、木の温もりに包まれた内観です。

次にプール。「25メートル・8コースのプールをはじめ、幼児プール、ジャグジー、採暖室などが揃っていますので、ぜひ健康づくりに役立ててください。天井は地震時の減災に配慮した膜天井を採用しています」

自主トレから教室まで

2階にはトレーニング室やスタジオを完備。「トレーニングマシンの種類、台数ともに充実し、高齢者にも使いやすい油圧式マシンも導入しました。スタッフがていねいに指導しますので、初めての方でも安心です。それに加え、窓からの眺めが抜群で、公園から街までを見渡しながら気持ちよく運動できますよ」と内藤館長の説明に力が入ります。



内藤館長

実は、内藤館長は重量挙げの選手

としてインターハイや国体で優勝経験を持つアスリートです。何でも気さくに答えてくれるので、気軽に話しかけてみてください。

これらスポーツ施設の充実ぶりからも分かるように、かみす防災アリーナは「する」「みる」「みせる」スポーツの拠点として、生涯スポーツやスポーツツーリズムを推進する役割を担います。アリーナ、スタジオ、プールを活用し、子ども向けから大人向けまで週7教室を実施。初心者でも1人でも安心して参加できるので、この機会に挑戦してみませんか？

音楽鑑賞から気ままな休憩まで

文化施設としては、コンサート、演劇、講演会などに利用できるホールがあります。座席数は300席で、舞台と客席が一体感で包まれる広さ。2階には、子ども連れで気兼ねなく鑑賞できる「親子室」が設けられています。

他に、館内の随所に会議室、研修室、和室が設けられ、幅広い用途に活用できます。

かみす防災アリーナを利用するのは、何か目的がある時だけとは限



有酸素運動機器や油圧マシンなどを有する充実のトレーニング室

人が集まり、人がつながる

りません。例えば、公園で遊んでいる途中で「ちょっと日陰で涼みたいな」と思ったら、ひさしの下のにぎわいデッキや、館内のコミュニケーションコリドーでひと休み。入館料などはありません。また、公園から直接カフェに入ることできます。場所が分かりやすく、駐車場も広いので、「気軽に集まれる場所」として人気を呼びそう。さらに、公園でイベントや祭りが開かれるときは、2階展望デッキが特等席となりそうです。

何回通っても、行きたびに新しい



⑤⑥⑦舞台と客席が一体感に包まれる座席数300席の音楽ホール ⑧文化ゾーンの壁紙は「光」のデザイン



公園から自由に入出りできるコミュニケーションコリドー

赤ちゃんからお年寄りまで多彩なスポーツ教室

かみす防災アリーナでは、赤ちゃんからお年寄りまで、誰でもスポーツに親しめます。例えば、ベビーチャダンス教室や親子体操教室は、なんと1歳6カ月の赤ちゃんから親子で参加することができます。プールでは、おむつの取れてい



る3歳児以上が参加できる教室を5つも用意。水に慣れるところから始めます。また、運動が苦手な4歳児以上を対象に、運動神経を養う教室も実施。もちろん運動が得意な子ども向けに、技術の向上を目指す教室もあります。

高校生になったら大人向け教室へ。アリーナを駆け回りたい時は、バドミントン教室や卓球教室に参加を。スタジオでは、人気のヨガ(シェイプヨガ、癒しヨガ、骨盤調整ヨガ)や、ズンバ、ピラティスをはじめ、ダンス、体幹トレーニング、転倒防止や健康増進のためのシニア体操など多彩なプログラムを用意。プールでも水泳だけでなく、水中運動やアクアビクスで健康づくりができます。

いずれの場合も、専門のスタッフがていねいに指導してくれます。真新しいアリーナ、プール、スタジオは、それだけで気持ちが良いもの。家族揃って運動を始めるなら、今が絶好のチャンスです！

発見ができそうなのも大きな魅力です。例えば壁紙の模様にも注目。よく見ると、スポーツゾーンの寒色系の壁紙には「水」、文化ゾーンの暖色系の壁紙には「光」という漢字がデザインされています。

また、コミュニケーションコリドーに置かれている家具は、防災用の備蓄品を収納でき、移動にも便利なキャスター付きとなっています。館内を探索するうちに、もっと詳しく知りたい、参加や体験をしてみ

たいと思っ
たら受付カ
ウンターへ。
利用方法や
料金の問い合わせ、教室やイベントの情報収集、参加申し込みや支払いなど、すべて1か所で済ませることがができます。

「二度来ていただければ、優れた防災機能を兼ね備えたアリーナであることを肌で感じていただけるでしょう。皆さんがいつも利用してい



る場所を、もしもの時も安心して集まれる場所とすることが私たちの願い。日頃から気軽に足を運んでいただき、市民の心のよりどころとなる施設を目指します」と、内藤館長は施設運営への意気込みを語ります。

「もしも」のときも、「いつも」のころへ。かみす防災アリーナは、地域の皆さんの健康と交流を育みながら、安全・安心をしっかりと守っていきます。